

2025筑波マイスター・トロフィー DUNLOP杯 HRC筑波ミニ耐久ロードレース JASC

JASC Foundation

公式通知 No. 2 - 5

2025年 5月30日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

※重要

【大会期間中の注意事項 及び お知らせ】

- ・大会期間中、入場する全ての車両は、発行された車両通行証を外部から確認できる位置に提示してください。
- ・駐車場で（エントラント駐車場・貸しガレージ付近）でのエンジン始動は禁止です。近隣の迷惑となりますので、7時20～17時の時間帯に、Aパドック内で行ってください。
- ・予選およびサイティングラップへのコースイン時にピットレーン（走行レーン）で待機する場合は、スタンドおよびタイヤウォーマーの使用は禁止といたします。タイヤウォーマーは作業レーンで装着するようにしてください。

1. ライダー受付（筑波サーキットホール）

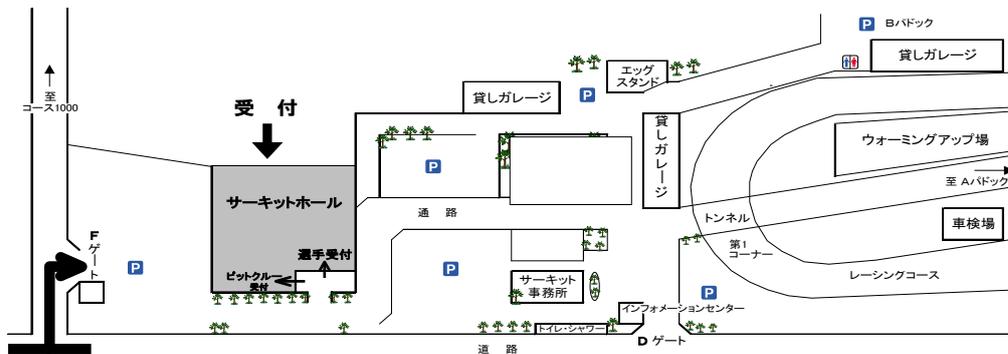
6月 20日（土） 7:50～8:20

提示物 ①2025MF J競技ライセンス（提示できない者は理由の如何に関わらず出場できない） ②参加受理書

③車両仕様書・装備申告書（無記入の車両仕様書では受付できない） ④MF Jメディカルパスポート

※MF Jメディカルパスポートの提示が必須となります。必ず持参してください。

※健康保険証は、各自必ず所持をすること。



★連絡車は自転車・キックボード（いずれも電動可）に限る（ミニバイク・スクーター等は禁止）。
電動タイプは必ずヘルメットを着用すること。

2. ピットクルー受付

(1) 今大会は、MF Jピットクルーライセンスの確認は行わない。（ピットクルー受付は行いません）

(2) 参加受理書に押印済みのピットクルーパスを同封する。ピットクルーとして登録されていない人がパスを使用するなど、不正が発覚した場合には、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられ、次回以降の大会に参加できない。

配布されたパスは、常に見える位置に装着すること。

(3) ピットクルーの変更がある場合は、必ずピットクルー受付に変更を届け出ること。（変更料は1名に付1,100円）

(4) ピットクルーの追加は規定人数まで申請できる。但し、1名につき2,200円の申請料が必要となる。

(5) 事前販売したパドックパスではピットロード、スターティンググリッドへの入場はできない。

3. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は、7:20から16:00までとする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。

※Aパドック内及びBパドック、芝生エリアでの暖機運転が認められるが、マシンの移動は全て押し歩きとする。

4. ライダー腕章

(1) ライダー受付時に腕章を配布します。走行時には必ず右の上腕部に着用してください。

(2) 腕章の色分けは下記の通りとします。ライダー腕章は、色によって個人を識別するものです。走行順とは関係ございません。

したがってエントリ時に登録した順番の色を装着してください。

第1ライダー:青色 / 第2ライダー:黄色

5. 公式車両検査

- (1) 時 間 : 別紙タイムスケジュール参照 (2) 場 所 : Aパドック内車検場
- (3) 提示物 : ①参加車両 ②車両仕様書・装備申告書(受付済みのもの) ④**装備一式**
※すべての装備を検査いたします。持ち込み忘れの無いようご注意ください。
- (4) 車検場にはアンダーカウルを外した状態で車両を持ち込み、外したアンダーカウルも持参しなければなりません。
- (5) **トランスポンダーを搭載した状態で車両を持ち込むこと。(取付場所は、メインフレームフレームピボットシャフト付近とする)**
※トランスポンダー及び取付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体:72,000円(税込)/ホルダー:1,000円(税込)
- (6) 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両仕様書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること(2台目以降のカメラ取り付けは有料)。また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなどし脱落防止に努めること。走行中に脱落した場合には罰則(罰金を含む)を科す場合がある。
- (7) 車検時に申告した内容(ヘルメット等の装備を含む)に変更のある場合は、必ずその内容について車検長に申告し、再車検を受けること。

6. サーキット内供給燃料について

- (1) 供給時間; 6月20日(土) 7:00~16:30 / 6月21日(日) 7:00~16:00
- (2) 供給場所; 筑波サーキットAパドック内アポロステーション

7. ピットボックスの使用について

今大会は、ART管理の下、全日本クラスへのピット割が行われており、予選で使用できるピットボックスはNo.1~9のみとなる。決勝はスタート前チェック完了後、ピットレーンへの進入以降は、No.12~32ピット前作業エリアにて作業を行うこと。また、ライダー交代についても必ずNo.12~32ピット前で行うこと。限られたスペースとなる為、譲り合って使用すること。なお、ピットボックスの独占は禁止とし、走行終了後は速やかに次のクラスが使用できるようにすること。

8. コースイン・コースアウトの補足

- (1) 予選・決勝レースを通じ、ピットレーンへの移動は、Bゲートからとする。ピットレーンにマシンを入れるタイミングは、オフィシャルの指示に従うこと。
- (2) 予選・決勝レースを通じ、コースアウトはAゲートとする。
- (3) 予選時間内であれば、トラブルなど特別な理由の場合は、パドックに入った後もコースに復帰できる。
- (4) コースイン、コースアウトの際、走路とピットレーンを区分するホワイトラインおよびイエローラインを横切ってはならない。

9. 出走嘆願書の扱い

- (1) 予選基準タイムに満たない選手について、過去の実績を考慮した上で、審査委員会の判断で出場を認める場合がある。
- (2) **予選に出走していないライダーの出走嘆願書は受け付けられない場合がある。**
- (3) 出走嘆願書の提出期限は**予選暫定結果発表後30分以内**とする。
- (4) 出走の可否は、審査委員会により審議され、正式グリッド表にて発表する。

10. プリーフィング

プリーフィングをVIPルームにて行う。決勝レースの進行方法、注意事項、最終的な変更事項等の確認を行う。時間になったら必ず集合すること。**出席しなかった場合は、罰則が科せられる。**



11. 決勝スタート前チェック

- (1) 決勝スタート前チェックは、スタート予定時間の30分前に開始し15分前に終了する。
尚、時間内に届出または、連絡のないそのライダーはオフィシャルの判断によりリタイヤとみなす。
- (2) スタート前チェックを済ませたあと、マシンをその場所から移動させてはならない。
- (3) 同時にヘルメットチェックを行うので、必ずヘルメットをスタート前チェック時に持参すること。
- (4) 何らかの理由によりタイムスケジュールが遅延した場合でも、スタート前チェックは定められた時間通りに行う。
尚、新たに大会事務局より時間が設定された場合には、その指示に従うこと。

12. ピットレーン先端(ピット前)シグナルライトについて

ピットレーン先端のシグナルライトは、緑(コースイン可)、赤(コースイン不可)となる。無灯の場合は、緑灯と同様に扱う。また、公式予選およびレース中は常にピットレーン出口で青ライトが点滅される。
ピットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと(第1ヘアピンをクリアするまでコースの右端を走ること)。

13. スタート方法

- (1) 決勝レースのグリッド数は**50台**、スタート方式は**ル・マン式スタート**とします。
- (2) スタート手順
 - ①ピットレーンよりコースインし、ゆっくりコースをまわってホームストレート上各自指定のグリッドに整列してください。
 - ②**グリッド上でタイヤウォーマーの使用はジェネレーターを使わず余熱のみの使用が認められる。**
 - ③整列した車両は、指示があるまでエンジンを始動することができません。
 - ④スタート3分前、**全ての作業・調整（タイヤウォーマー取り外し含む）を終了しエンジンスタート（スタートまでエンジンは始動しただままとなります）**。スタートライダーは反対側（メインスタンド側）に移動してください。スタートの合図があるまで自分の車両の方に移動することはできません。
 - ⑤控えのライダー1名は**ヘルメットおよび長袖長ズボン（サンダル履禁止）**を着用し、車両の後尾を支え待機となります。**又スタートライダーがエアバックベストを着用する場合、エアバックハーネス取付け要員を1名加えることができます。（ヘルメット、長袖長ズボン着用）**他のチーム員はこの時点でピット内に退避していること。尚、この時までには車両の整備を行うメカニックの人数に制限はありません。
 - ⑥フラッグタワーより日章旗の合図があったとき、スタートライダーはコースを横断して自分の車両に駆け寄りスタートとなります。
※スタートする迄はギヤをニュートラルにして待機してください。
 - ⑦スタートでエンジンストールまたは正常にスタートができない場合、全車スタートし安全が確認された時点でフラッグタワーからグリーンフラッグを提示、その後に控えのライダーの補助による押しがけスタートが可能となります。
 - ⑧エンジンが始動しない場合、フラッグタワー下センターゲートもしくはコンクリートウォール最前方の安全地帯までライダーが車両を移動させ、メカニックの作業を得てスタートすることができます。移動する場所はオフィシャルの指示に従ってください。
- (3) スタートライダーの指定はございません。

14. ピットレーンの速度制限

ピットレーン走行中の違反は、重大な事故につながる場合がある。ピットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落として常に停止できる状態で走行すること。尚、**ピットレーンの制限スピードは40km/h以下**とし、違反した場合には罰則が科せられる。サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットレーン上に出るはならない。従わない場合にはその当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。

15. ピット作業・ピットサイン

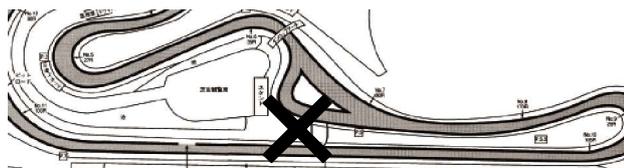
- (1) ピットでの作業人数は、ピットクルー2名とライダー2名の**計4名**までです。
- (2) 当該車両がピットインした時のみ、ピットクルーは自己のピット前の停止区域に出て作業することができます。ピット作業の場合を除いて停車区域に出る事と、部品や工具を停車区域に置いておくことは禁止です。
- (3) ピットクルーの行動範囲には制限があり、サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピット作業エリアに出ないでください。従わない場合にはその当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられます。
- (4) 走行中のライダーに対しピットサインを送ることができますが、無線機等の使用は禁止です。
- (5) ピットサインを送るピットクルーは1チーム2名までとし、ピットレーンのイエローラインまで出てサインを送ることができます。
- (6) レース中の燃料補給は出来ません。

16. ライダー交代

- (1) 1人のライダーが40分以上続けて走行することは出来ません。
- (2) ライダー交代は自己ピットでのみ可能、必ずエンジンを停止させて行わなければなりません。
- (3) 登録されたライダーは、必ず1回以上走行しなければなりません。但し、**負傷などやむをえない場合この限りではありませんが、必ず事務局に届け出なければなりません。**
- (4) **マシントラブルにてコースアウトし、パドックに戻った後でレースに復帰する際、ライダー交代する場合にはその旨をCゲートのオフィシャルに申告しなければなりません。**
- (5) 救急車で搬送等でマシンのみがコースに残ってしまった場合、大会事務局に走行を継続する事を申し、許可された場合（場所・マシン状況により判断する）のみ事故現場付近でのライダー交代が認められます。その場合、コースの外より最寄りのポストへ行き、安全確認がとれた後にポスト員同行の上コースインし、オフィシャルのマシンチェックを受け、押し歩きにて復帰してください。

17. ショートカット

ショートカットの使用は禁止される。
使用した場合にはペナルティが科せられる。



18. 走路外走行

走行中、ライダーは常に走路を走行しなければならず、危険回避等のやむを得ない場合を除き、故意に走路を外れること（走路外走行）は認められない。対象となる場所は、最終コーナー立ち上がりアウト（左）側、縁石外側の退避レーン（緑色ペイント部分）とし、違反した場合は、罰則を科す場合がある。

19. ペナルティ

- (1) ジャンプスタートをした場合は、**ライドスルーペナルティ**が科されます。
- (2) ショートカットおよびピットレーン先のホワイトラインカットを行った場合には、その当該周無効のペナルティが科せられます。
- (3) フルコースコーション中にレッカー車で回収された車両に対して、当該周無効のペナルティが科されます。
- (4) **ペナルティとしてピットストップが科される場合、回数ごとに停止時間が加算されます。2回目は1分、3回目は3分、4回目は5分、以降5分ずつ加算されます。尚、ペナルティの度合いによっては失格となる場合や、停止時間が異なる場合があります。**
※ペナルティストップの指示を受け3周以内にピットインせずペナルティを実行しない場合は、大会審査委員会の判断により、失格を含む厳罰が科せられます。
- (5) **レース終了までにペナルティが消化できない場合、ペナルティ累積回数分の周回数(ペナルティが1回目の場合は1周、2回目は2周…)が減算されます。但し、ペナルティの度合いにより厳罰となる場合があります。**

20. 競技の終了および順位決定

- (1) 規定の時間を完了した時点で、トップのライダーにフラッグタワーよりチェッカーフラッグが振られます。
- (2) 正式なレースの終了は、チェッカーフラッグによりトップのライダーがゴールインした後2分間が経過した時とします。
- (3) 天候その他の理由により、定められた時間を減算しレースを終了する場合があります。
- (4) 途中でレースが中断された場合でも、最初の正式なレーススタートからレース設定時間を越えないものとします。
- (5) チェッカーフラッグが提示された時点で、ピットインしていた車両のコースインは禁止されます。
- (6) 順位は**周回数の多い順**、同一周回数の場合はコントロールラインの通過順(ピットレーン含む)にて決定します。複数のヒートレースの場合も同様となり、各ヒートの周回数を合算し、周回数の多い順に決定される。同一数回数の場合は、最終ヒートのコントロールライン通過順となる。

21. 再車検について

- (1) HRC GROM Cup各クラス1～3位、NSF100 HRCトロフィー1位の車両保管を行う。暫定表彰式終了後、オフィシャルの指示に従い、マシンを車検場に移動すること。
- (2) 車両返却時のトラブル防止の為、車両保管解除後のマシン返却の際、**ライダーのMF Jライセンスまたは運転免許等の身分証明が可能なものを必ず持参すること。**

22. 暫定表彰式および表彰式

- (1) 下記のライダーに対し、暫定表彰式を各レース終了後にコース上で行う。但し、タイムスケジュールの都合によりパドック等で行う場合がある。また、全競技終了後の表彰式は行わない。
- (2) スパークリングウォーターを授与いたします。
- (3) 下記のライダーに対し、正賞の楯を正式結果発表後にサービスセンターにて授与する。受け渡しは大会終了時までとし、終了後は、受け取りを拒否したものとみなす。(※ライダーのMF Jライセンスを持参してください)

| クラス | 暫定表彰式 | 正賞 |
|-------------------------|-------|------|
| HRC GROM Cup(アドバンスクラス) | 1～3位 | 1～3位 |
| HRC GROM Cup(ルーキークラス) | 1～3位 | 1～3位 |
| HRC GROM Cup(オーバー88クラス) | 1位 | 1位 |
| NSF100 HRCトロフィー(トロフィー) | 1位 | 1位 |

23. 医療施設の利用義務

- (1) 負傷したライダーは最初に施設の医務室で診断を受けること。**医務室の診断記録に記録がないと保険がおりない場合がある。**
- (2) サーキット指定病院 : 茨城西南医療センター病院 〒306-0400 茨城県猿島郡竜町2190 Tel:0296-87-8111

☆お願い 施設内の安全管理の為、エントリー1台に対して消火器を1本携帯していただきますようお願いいたします。

お知らせ パドック間のコース横断・往来について

各パドックとコースの往来が行えます。これは、Bパドックおよびメインスタンド裏の利便性を高めるためとなります。各走行のインターバル時に下記を開放する予定です。横断する場合は係員の指示に従うようお願いいたします。

1. Bパドック(1ヘアピン側ゲート) ⇄ Aパドック(ドライバースサロン脇ゲート)
2. メインスタンド側駐車場(P4) ⇄ Aパドック(ガソリンスタンド脇)

※朝の時間帯のコース横断可能時間は、土曜日 5:30～7:30、日曜日 5:30～7:30迄といたします。以降は各走行インターバルでの開放となりますが、状況により、オープンできない場合もございますのでご了承ください。

本通知に記載されていない事項は、2025MF J国内競技規則、2025DUNLOP杯HRC筑波ミニ耐久ロードレース特別規則に準ずる。